

THE NEXT GENERATION

次の時代の写真界を担っていく
勢いのあるベルリンの若手ギャラリー



左: ヴォーアラー内観。右: ベルリンの写真家30人の作品を飾る同ギャラリーのオープニング写真。右下: 同ギャラリーのドキュメンタリー写真展「2011年ベルリンのトモ・スベドワ」。

Pavlov's Dog

写真家たちのコレクティブスペース

ベルリンで活動する写真家は多いが、無名の若手写真家を積極的に紹介する写真専門ギャラリーが少ないことに目を付け、フォトエディター、フォトグラフィから5人が集まって2011年に始めたギャラリー。若手作家の展示を中心に、ここに集う人々のつながりを保めることのできるような出会いのきっかけとなるギャラリーを運営している。

● Tel: +49 30 321 2676 Fax: +49 30 321 2769
14:00 - 20:00 (水-土) またはアポイント <http://www.pavlovsdog.de>



左: ヴォーアラー内観。右: フランス人美術写真家ドミニク・ヴェーヴェの作品。右下: ヴォーアラーのホムス・ドゥ・カスティオン・ヘルマン。

Galerie für Moderne Fotografie

旧東ドイツのファッション写真にフォーカス

『ヴォーア』ディファジなどのファッション誌でスタイリストとして活躍したキム・ステイン・ヘルマンが2008年に開いたアート、ファッション写真中心のフォトギャラリー。その経歴や旧東ドイツのストック出身というバックグラウンドから、東ドイツ時代のファッション写真に注目。発掘・紹介することが、ライフワークの一部になっているとか。

● Tel: +49 30 15 100 15 Fax: +49 30 17 98 1033
12:00 - 18:00 (水-土) またはアポイント <http://galerieformodernefoto.de>



右: 写真と300冊以上の書籍を揃えていた作家のサイン入り、オリジナルプリント入りのラフレターをもつ開いた展示スペース。

Only Photography

出版社に併設されたギャラリー

グラフィックデザイナーのローランド・アグストによる写真専門出版社オンリー・フォトグラフィのショールーム兼オフィス。2010、写真集の出版を行い、ギャラリーでこの国のためのプレゼンテーションと独自の展示を行っている。ドイツ人作家以外に、東欧圏や韓国・欧米などの日本人写真家の出版も。ギャラリーでは写真集も販売。

● Tel: +49 30 367 20 291 Fax: +49 30 14 00 15 00
11:00 - 18:00 <http://www.only-photography.com>



写真と彫刻を組み合わせた現代アーティスト、ティナ・バイツスの展示写真。

Galerie cubus-m

注目の新エリアの代表格

旧西ベルリンのシュートベルト地区のハウプト通り沿いに近年、いい若手ギャラリーが増えてきた。ケープス・エムもそのひとつ。建築家だったカルダー・マルクアントは、もともとアーティストとのつながりが深く、アート系の飲食に関わることも多かったという。ベルリンの写真家ヴィクト・レーパーなど、次世代の作品を積極的に紹介している。

● Tel: +49 30 3149 4890 Fax: +49 30 10 00 1000 (水-土)
11:00 - 19:00 (水-土) またはアポイント <http://www.cubus-m.com>



ウオグの建築的に美しいヴォーアラーの内観。写真集の展示スペースにもヴォーアラー・ビルを併用している。

Kaminek Gallery

出版を意識したスペース運営

アレクセー・プスの初展作品『Looking for Love』を手がけたこともあるフォトギャラリーのコミニケット・ギャラリー。商業写真家として仕事をしてきた経験をもつミハエラ・コミニケットは、写真集という形に残すことにこだわるギャラリー経営をしていて「本を扱うことが最終目的」と言い切る。新進作家の展示および写真集制作にも柔軟的だ。

● Tel: +49 30 17 20 44 (水) Fax: +49 30 17 20 44 (水-土)
14:00 - 19:00 (水-土) またはアポイント <http://www.kaminek-gallery.com>